

2023年12月25日  
いづみの農業協同組合

## 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針

いづみの農業協同組合（以下、「当組合」といいます。）は、『「人」が大切、「緑」が大切。』を組合理念とし、「食・農・くらしを基軸に地域とつながるJA」を目指し、「地域農業を守る」「地域の食を守る」「組合員のくらしを守る」の「3つの守る（支える・解決する）」事業・活動を展開しております。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下「原則」といいます。）を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるまの総合保障」（共済事業）の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するため、当組合の「お客様本位の業務運営に関する取組方針」の見直しを実施いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況については、定期的に公表するとともに、より組合員・利用者本位の業務運営に資するよう、社会情勢や環境変化等を踏まえ、必要に応じて本方針を見直してまいります。

注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会が、共同で事業運営しております。

### 【JAいづみの理念（組合理念）】

#### 「人」が大切、「緑」が大切。

JAいづみのは、「人」と「人」の結びつきを基盤として存在しています。ここでいう「人」とは、組合員であり、地域の人々であり、私たち役職員であり、親、子、兄弟、友人、知っている人、知らない人、近くの人、遠くの人、日本人、外国人・・・・。

この人々のつながりこそが私たち“JAいづみの”の宝であり、今まで以上に大切にしていかなければならないと確信しています。

一方、私たちは、「人」を大切にすると同様に、「緑」を大切にし、守り育てなければならぬと考えています。

「緑」とは、草や木だけでなく、農業や農産物、林や森、身近な自然、大きな自然、都市の環境、地球の環境までを含めて考えています。

これらの「緑」は人が生きるために不可欠なものであるがゆえに、大切にしていく活動をより積極的に展開します。

そして、JAいづみのは、「人」、「緑」を大切にすることにより、地域に根ざした組織として、社会的役割を誠実に果たしてまいります。

## 1. 組合員・利用者への最適な商品提供

### (1) 金融商品

①組合員・利用者の皆さんに提供する金融商品は、特定の投信運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えできるものを選定します。  
なお、当組合は、金融商品の組成に携わっていません。

②金融商品の選定にあたっては、次の観点から組合員・利用者の皆さまの色々な「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、「選びやすさ」、「長期投資への適性」を考慮し、一定の商品数に絞った『セレクトファンド』により商品提供を行います。

#### <セレクトファンド選定基準>

##### (i) 長期投資

将来の備えに向けて「長期投資」を前提とした投資信託であること。  
(テーマ型ファンドでないこと)

##### (ii) 手数料

手数料が良心的な水準であること。

##### (iii) 運用実績

過去の運用実績が相対的に良好であること。

##### (iv) 将来性

これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては過度な分配金を捻出する投資信託ではないこと。

##### (v) 運用体制

運用体制について、外部機関の評価を得ていること。

【原則2 本文および（注）、原則3（注）、原則6 本文および（注2、3）】

### (2) 共済仕組み・サービス

組合員・利用者の皆さんが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう最良の共済仕組み・サービスを提供します。

なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）は提供していません。

【原則2 本文および（注）、原則3（注）、原則6 本文および（注2、3）】

## 2. 組合員・利用者本位のご提案と情報提供

### (1) 信用の事業活動

- ①組合員・利用者の皆さまへの商品提案にあたっては、「スタイル診断シート」を活用し、組合員・利用者の皆さまのリスク許容度を確認し、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて組合員・利用者の皆さまにふさわしい商品をご提案します。
- ②組合員・利用者の皆さまへの商品提案にあたっては、「重要情報シート」により、当組合の提供する投資信託商品が長期運用を前提としたものであることなど、商品の性質を明確にしたうえで商品提案を実施します。
- ③組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について資料を提供のうえ分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。
- ④組合員・利用者の皆さまが高齢の場合等においては、上席者の事前承認や同行対応による勧誘・ご提案、取引約定時における再確認等、組合員・利用者の皆さまの特性に応じ適切な対応を実施します。
- ⑤組合員・利用者の皆さまへの商品販売後も、金融市場の変動等に応じて、必要な情報提供を行う等適切にアフターフォローを行います。
- ⑥組合員・利用者の皆さまとの取引内容について定期的なモニタリングを実施し、組合員・利用者の皆さまへ適正な商品のご提案・販売を行っているか検証しています。

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

### (2) 共済の事業活動

- ①組合員・利用者の皆さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最良・最適な保障・サービスをご提案します。
- ②保障の加入にあたっては、組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施します。

③特にご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行います。

④なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。

⑤各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすいご説明を心がけるとともに、日々の接点を通じてより安心いただけるアフターフォローを実施します。

【原則2本文および（注）、原則4本文、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

### 3. 利益相反の適切な管理

（1）組合員・利用者の皆さまへの商品選定や情報提供にあたり、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害するがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

【原則3本文および（注）】

（2）金融商品の販売・推奨にあたっては、「重要情報シート」により、当組合の利益と組合員・利用者の皆さまの利益が反する可能性とその対処について明確化します。

【原則4本文、原則5本文および（注1～5）】

### 4. 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

（1）組合員・利用者の皆さまの信頼を獲得し、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに、組合員・利用者の皆さまの多様な資産運用や保障ニーズに応え、的確な金融商品・保障・サービスを提供、堅確な事務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

（2）組合員・利用者の皆さまへの適切な提案に資する高度な専門性を有する職員育成のため、外部資格取得を推奨しています。

【原則6（注5）、原則7本文および（注）】

＜内部研修・資格制度＞

- ・証券外務員資格再研修（対象：信用担当職員）
- ・ライフアドバイザー認証要件研修（対象：渉外担当職員）
- ・スマイルサポートー認証要件研修（対象：共済担当職員）
- ・普及担当者必須研修（対象：LA管理者・共済担当職員・渉外担当職員）等

＜取得を推奨する外部資格＞

- ・証券外務員2種（対象：信用担当職員）
- ・内部管理責任者試験（対象：信用担当職員）
- ・FP3級技能士（対象：全職員）

（3）組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に取り組むとともに、組合員・利用者の皆さまに対して、最適な金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、継続的に職員育成を行う態勢を構築します。

【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

（4）業績の評価にあたっては、「手数料収入への貢献度等」ではなく、顧客ニーズに沿った商品販売・保障提案を行った結果としての「預かり資産残高等」の他、「提案プロセス」を評価材料としています。

【原則7本文および（注）】

以上

※上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2021年1月改訂）との対応を示しています。

2023年8月30日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

いづみの農業協同組合（以下、「当組合」といいます。）は、『「人」が大切、「緑」が大切。』を経営理念とし、「食・農・暮らしを基軸に地域とつながるJA」を目指し、「地域農業を守る」「地域の食を守る」「組合員の暮らしを守る」の「3つの守る（支える・解決する）」事業・活動を展開しております。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

いづみの農業協同組合

# I .取組状況

## 1 お客様への最適な商品提供 【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3）】

- お客様に提供する金融商品は、特定の投信運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 金融商品の選定にあたっては、次の観点からお客様の色々な「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、「選びやすさ」、「長期投資への適性」を考慮し、一定の商品数に絞った『セレクトファンド』により商品提供を行います。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	8 (前年度末：8)
株式型	6 (前年度末：6)	7 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型		11 (前年度末：11)

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

主な選定基準

### 1. 長期投資

長期投資を前提とした投資信託であること

### 2. 手数料

手数料が良心的な水準であること

### 3. 運用実績

過去の運用実績が相対的に良好であること

### 4. 将来性

資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

### 5. 運用体制

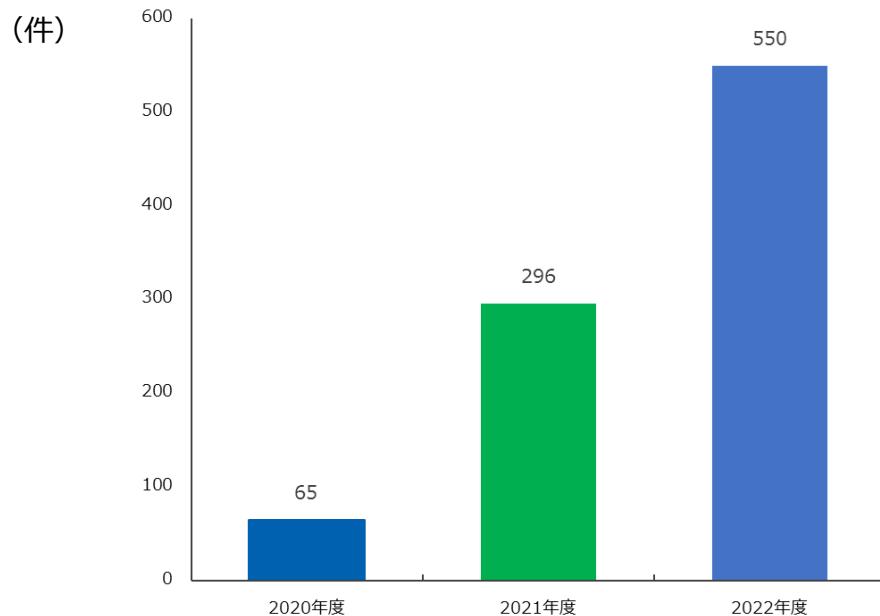
運用体制について、外部機関の評価を得ていること

# I .取組状況

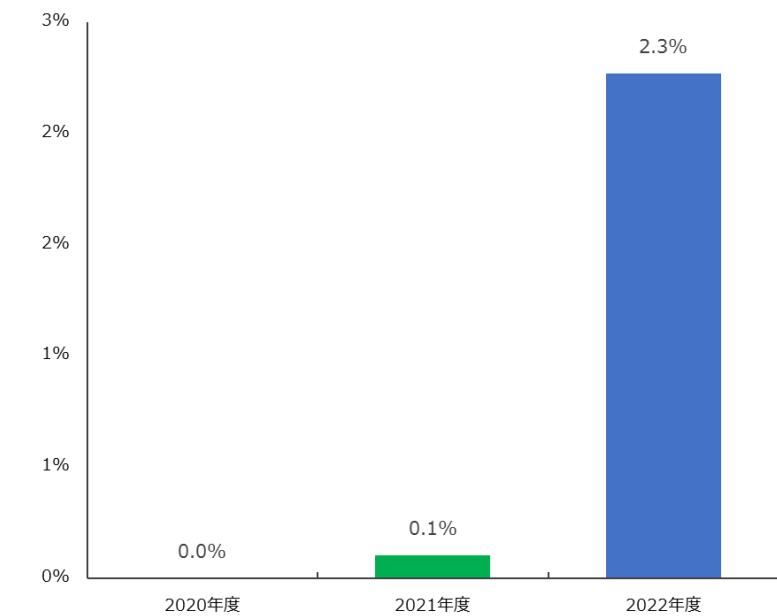
## 2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および（注）、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまへの商品提案にあたっては、「スタイル診断シート」を活用し、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。本方針に基づき、未経験の資産形成層に対しては「ためる」ニーズに応じ、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客様が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様の比率も増加いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



# I .取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客様への商品提供にあたっては、「重要情報シート」により、当組合の提供する投資信託商品が長期運用を前提としたものであることなど、商品の性質を明確にしたうえで商品提案を実施しました。
- お客さまの投信判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について資料を提供のうえ分かりやすくご説明し、必要な情報を十分に提供しました。
- お客さまが高齢の場合等においては、上席者の事前承認や同行対応による勧誘・ご提案、取引約定時における再確認等、お客さまの特性に応じ適切な対応を実施しました。
- お客さまへの商品販売後も、金融市場の変動等に応じて、必要な情報提供を行う等適切なフォローアップを実施しました。
- お客さまとの取引内容について定期的なモニタリングを実施し、お客様への適正な商品のご提案・販売を行っているか検証を実施いたしました。



# I .取組状況

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害するがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。
- 金融商品の販売・推奨にあたっては、「重要情報シート」により、当組合の利益とお客さまの利益が反する可能性とその対処について明確化します。

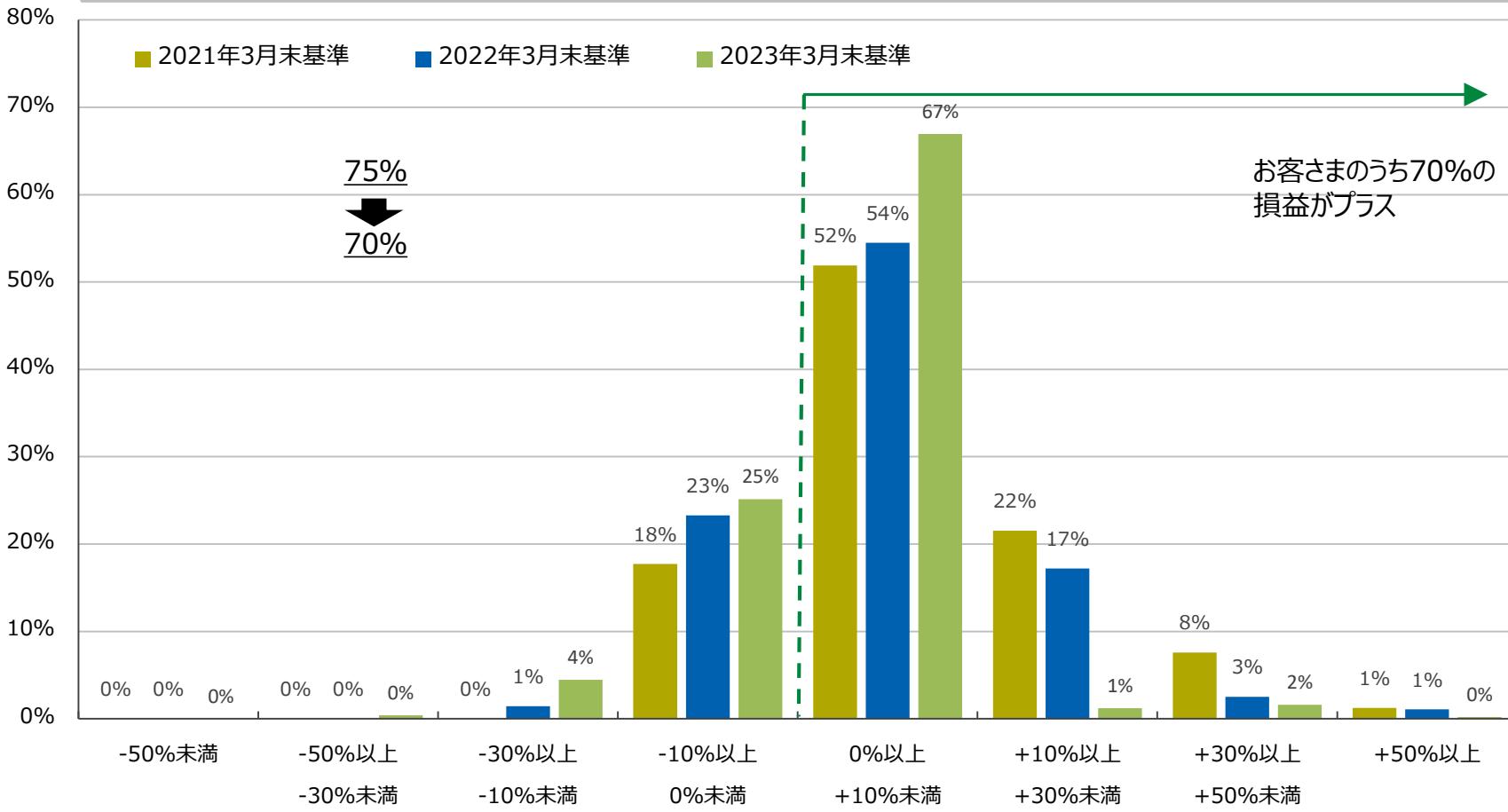
## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

- お客さまの多様な資産運用ニーズに応じ、適切な提案を行うことができる高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しています。
- お客さまへの適切な提案に資する高度な専門性を有する職員育成のため、外部資格取得を推奨しています。

## Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の70%のお客さまの損益がプラスとなりました。

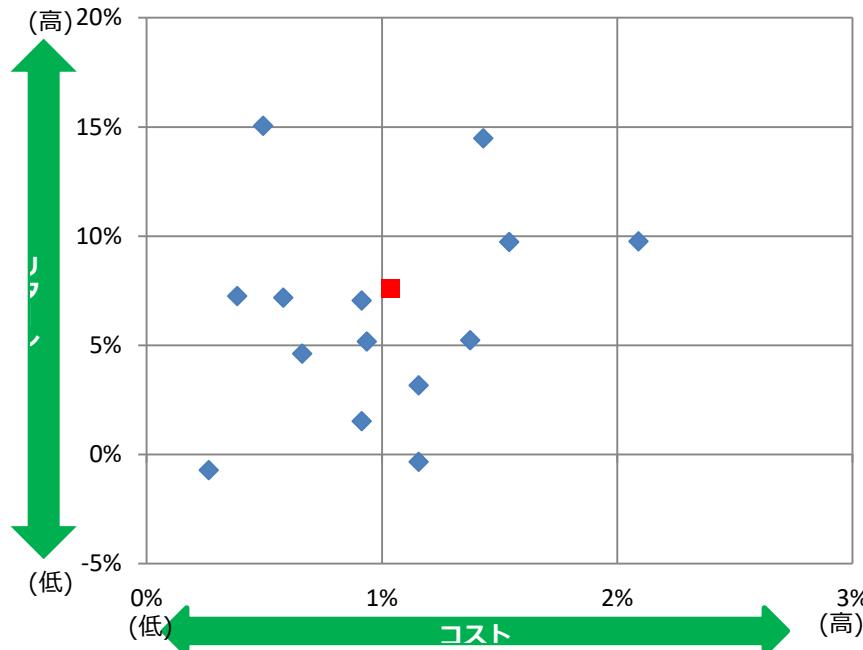


## Ⅱ.比較可能な共通KPI

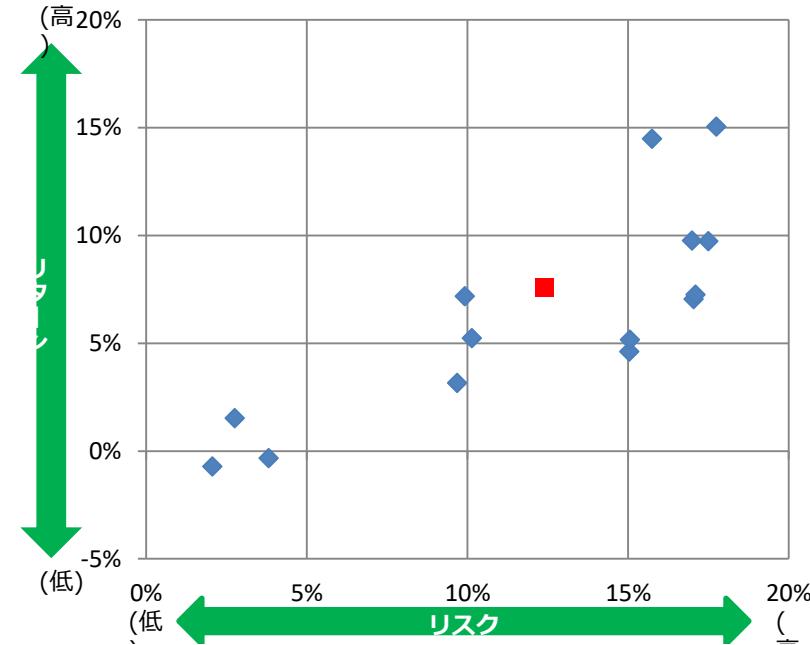
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.04%、平均リスク12.40%に対して、平均リターンは7.61%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

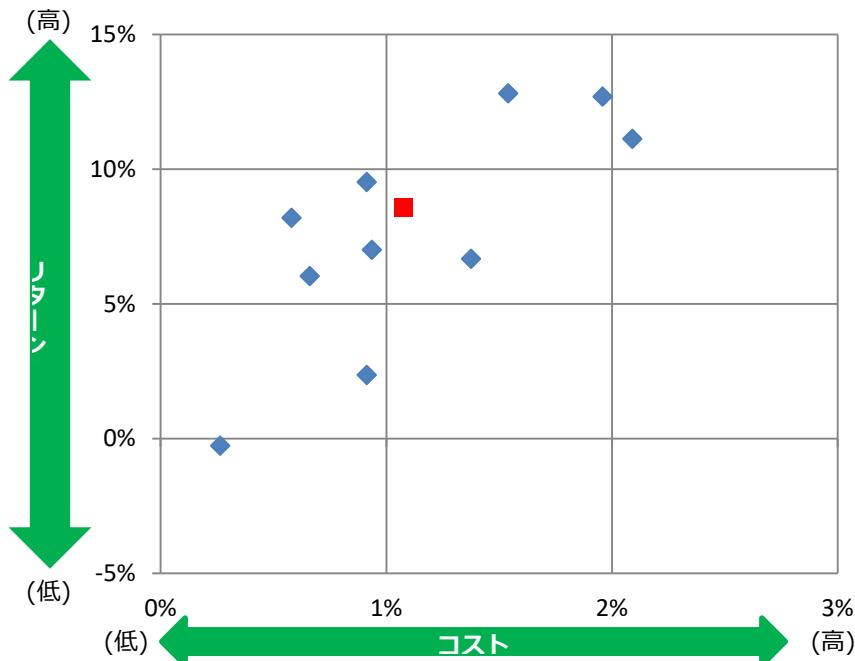
※赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

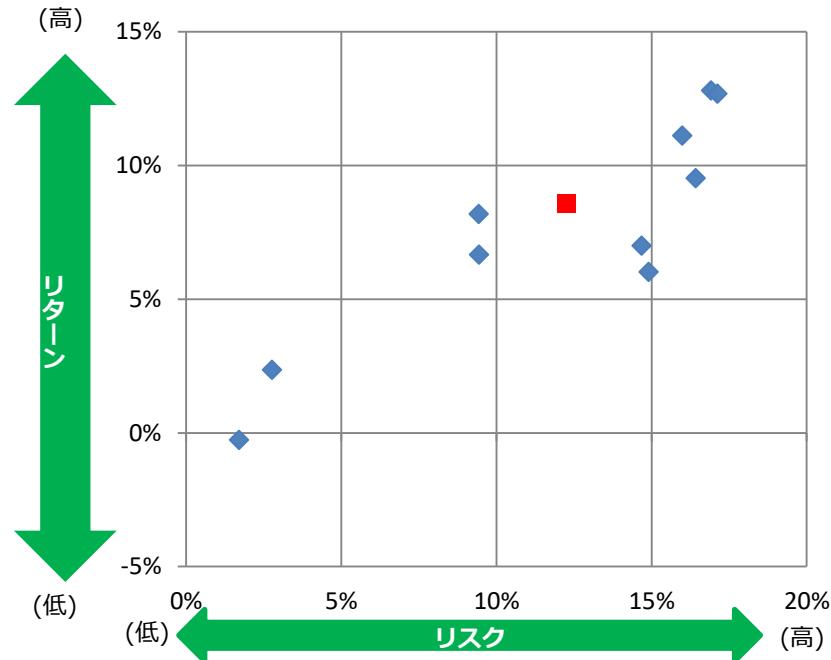
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2022年3月末）

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.08%、平均リスク12.26%に対して、平均リターンは8.56%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

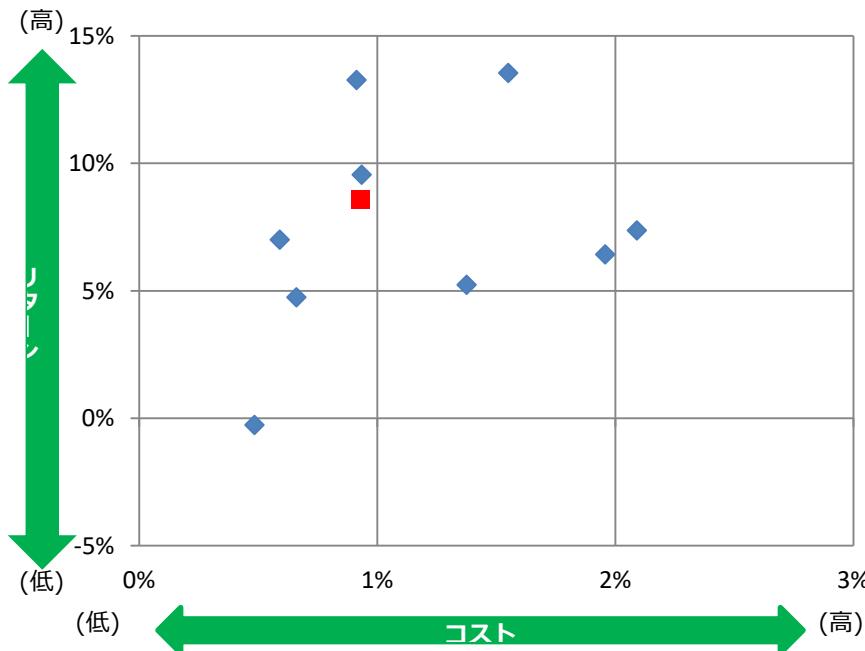
※赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

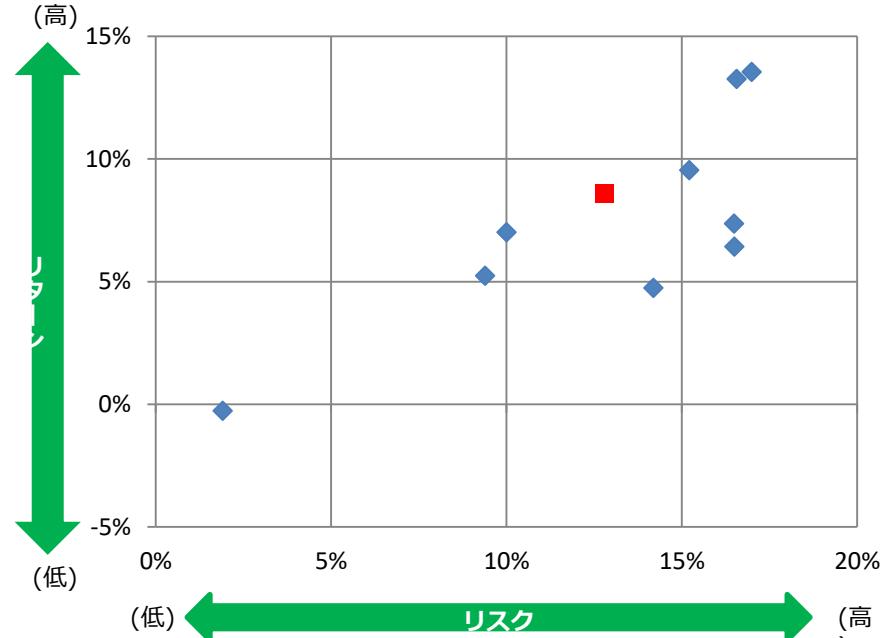
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2021年3月末）

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.93%、平均リスク12.79%に対して、平均リターンは8.58%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
9	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
10	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
11	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
12	J-R-E-I-Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
13	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
14	J A TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		7.61%	12.40%	1.04%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は14本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2022年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	12.81%	16.91%	1.54%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.53%	16.42%	0.91%
3	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	2.36%	2.76%	0.91%
4	セゾン・パンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	8.19%	9.42%	0.58%
5	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.26%	1.70%	0.26%
6	世界の財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	6.67%	9.44%	1.38%
7	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.13%	15.98%	2.09%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント（株）	12.69%	17.12%	1.96%
9	J A TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.00%	14.67%	0.94%
10	J-REITインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	6.02%	14.90%	0.66%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		8.56%	12.26%	1.08%

※ 2022年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2021年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.27%	16.56%	0.91%
2	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.26%	1.91%	0.48%
3	J-R E I Tインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.75%	14.19%	0.66%
4	世界の財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	5.24%	9.39%	1.38%
5	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.37%	16.49%	2.09%
6	セゾン・パンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.01%	10.00%	0.59%
7	ダイワ・グローバルR E I T・オープン	大和アセットマネジメント（株）	6.43%	16.50%	1.96%
8	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.55%	15.21%	0.94%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	13.55%	16.99%	1.55%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		8.58%	12.79%	0.93%

※ 2021年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。